

結城市

内水ハザードマップ



結城市 上下水道部 下水道業務課・施設課

お問合せ TEL0296-34-1612
〒307-0001 茨城県結城市大字結城7473番地
結城市役所駅前分庁舎(しるくろど3階)

平成24年3月作成

内水ハザードマップとは

「近づかない」が最優先

地球温暖化の影響といわれる局地的集中豪雨(ゲリラ豪雨)の頻発と、それによる都市浸水状況の変化が新たな問題として生じています。結城市でも、2003年8月5日の時間当たり降雨量67mm/hrを記録した豪雨は、わずか約1時間の降雨により床上浸水2棟を含む45棟に被害をもたらしました。このように短い時間で集中的に降る豪雨に対しては、避難所へ急いで避難することも大切ですが、**気象情報や雷雨の兆しに注意し、浸水が予想される場所に近づかないことが最も大切です。**この内水ハザードマップは、住民の皆様が局地的な豪雨に伴う浸水から身を守るための情報を提供することを目的としています。

平常時の内水ハザードマップの使い方

STEP 1 内水ハザードマップから、自分の家を確認しましょう。自分の家や付近の想定される浸水の深さを確認しましょう。

STEP 2 家から近い避難所を探し、避難する道順について、家族で話し合しましょう。

STEP 3 避難する道順を実際に歩いて安全を確認しましょう。
※雨の日に歩いてみると危険な場所がわかるかもしれません。

STEP 4 マップに避難する道順を書き込みましょう。

STEP 5 マップ内の「防災メモ」へ避難所、家族の連絡先を書き込みましょう。

STEP 6 内水ハザードマップは普段から目につく場所に貼っておきましょう。

家庭でできる浸水対策(自助対策)②

家庭でできる簡易水防方法

ご家庭にある物を使って水の浸水を防ぐ方法の例です。ごく浅い水深(10センチ程度)であれば被害を軽減することができます。

- ごみ袋による簡易水のうの方法**
40ℓ程度の容量のごみ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れ中袋をひもでしばり、外袋もひもでしばります。(持ち運べる程度)ダンボールなどに入れますと持ち運びに便利で、設置も簡単です。
- 止水板による方法**
単管水のうを作り、長めの板などと組み合わせ利用し、浸水を防ぎます。
- ポリタンクとレジャーシートによる方法**
10ℓまたは20ℓのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み、連結して使用します。
- プランターとレジャーシートによる方法**
土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。
- 吸水性ゲル水のうによる方法**
土のうの代替として市販の吸水性ゲル水のうを使用します。軽量コンパクトですが、水を吸うと膨張します。

局地的豪雨をもたらす積乱雲発生の予兆

局地的豪雨の原因となる積乱雲は、短時間で発生するため、大雨警報・注意報が発表される前に浸水被害をもたらす可能性があります。

発達した積乱雲の近づく兆しとは...

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

防災メモ・防災機関連絡先

災害が発生し避難が必要になったときのために、事前に家族で話し合い防災メモを記入しておきましょう。

家族の連絡先				
氏名	電話(会社・学校)	住所	×	モ

避難場所		
非常時の集合場所	×	モ

緊急連絡先			
連絡先	電話	連絡先	電話
結城警察署	0296-33-0110	結城市下水道業務課・施設課	0296-34-1612
結城消防署	0296-32-5145	結城市防災交通課・土木課	0296-32-1111

結城市ホームページ <http://www.city.yuki.lg.jp/>

情報のありか	
情報	URL
気象庁	http://www.jma.go.jp/jma/index.html
水戸地方気象台	http://www.jma-net.go.jp/mito/
茨城県防災・危機管理ポータルサイト	http://www.pref.ibaraki.lg.jp/bousai/
国土交通省防災情報提供センター	http://www.river.go.jp/03/nrpc0301g_bosai.html
XバンドMPLレーダー雨量情報(試運転中)	http://www.river.go.jp/xbandarad/

気象台から提供される情報

こんなときに発表されます

大雨注意報	大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合	1時間降雨量 40mm以上
洪水注意報	洪水によって災害が起こるおそれがあると予想される場合	
大雨警報	大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合	1時間降雨量 60mm以上
洪水警報	洪水によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合	

雨の強さ

雨量	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間	10mm/h以上20mm/h未満	20mm/h以上30mm/h未満	30mm/h以上50mm/h未満	50mm/h以上90mm/h未満	90mm/h以上

この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要です。

避難するときの準備

- やや強い雨**: 雨の音で話し声が聞き取れなくなる。地面に水たまりができます。
- 強い雨**: 傘をさしていてもぬれるほどの土砂降りの雨です。
- 激しい雨**: 山崩れ、崖崩れが起きやすくなり、危険な場所では避難の準備が必要です。都市では下水管から雨水がもたれたいります。
- 非常に激しい雨**: 都市部では地下室や地下に、雨がたまりやすくなります。マンホールから水が湧出します。多くの災害が発生します。
- 猛烈な雨**: 雨による大規模な災害が発生するおそれが高く、緊急な警戒が必要です。

風の強さ

風速(m/s)	やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
10m/s以上15m/s未満	15m/s以上20m/s未満	20m/s以上25m/s未満	25m/s以上30m/s未満	30m/s以上

避難するときの準備

- やや強い風**: 風に吹かれて歩きにくくなります。傘がささげやすくなります。
- 強い風**: 風に向かって歩かせない。転倒する人もできます。
- 非常に強い風**: 小枝が折れて、飛ばされます。
- 猛烈な風**: 樹木が根こそぎ倒れる場合があります。

家庭でできる浸水対策(自助対策)①

浸水による被害を最小限にとどめるために、日頃からの備えと対策が大切です。もしもの時の役割や連絡方法を家族や地域で話し合っておきましょう。

日頃から、避難場所や避難ルートの確認を	非常持ち出し品の事前準備を	雨水ます周辺の清掃を
避難場所や、安全な避難ルートを事前に決めておきましょう。	避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。	雨水ますの取出口が落ち葉やゴミで詰まると、道路冠水や浸水の原因になります。雨水ますの清掃に協力をお願いします。
排水設備の上には物を置かないで	地下室には土のうや板などの準備を	ご家庭での雨水貯留・浸透施設の設置を
「雨水ます」や「L字側溝」の上に車乗り入れブロックなどを置かないようにしましょう。	地下室がある建物では、土のうや板などを事前に準備しておきましょう。	宅地内に降った雨が地面にしみこむように、ご家庭での雨水貯留・浸透施設の設置にご協力をお願いします。
洗濯機、風呂、トイレなど意外な場所からの浸水にも留意を	大雨のときは排水を控えて	
洪水時には、洗濯機やお風呂の排水口やトイレなどから下水が逆流することがあります。水のでふさぎ対応しましょう。	洗濯や風呂の排水などは、雨が止んでからにするなどの配慮をお願いします。	

非常持ち出し品チェックリスト

次は、避難するとき役立つものです。家族で何が必要かを考えてチェックしておきましょう。

持ち出し品をそろえましょう

家族の運災害に備え、非常持ち出し袋を準備しておきましょう	避難するとき必要となるもの
<ul style="list-style-type: none"> 懐中電灯 災害はいつ起こるか分かりません。予備の電池も用意しておきましょう。 携帯ラジオ・予備乾電池 災害の情報など、自分の状況を把握するために必要です。 ロープ 万が一の緊急脱出、救助、その他様々な利用ができます。 ローソク・マッチ 	<ul style="list-style-type: none"> 衣類・下着類 避難が何日続くかわかりません。最低限の用意をしておきましょう。 貴重品(現金・通帳・保険証など) いざというときに持ち出せるように保管場所を決めておきましょう。 靴 長く歩くと足が痛くなるので、歩きやすい靴を用意しましょう。 軍手 杖 防災頭巾
家族構成によって準備するもの	その他あると便利なもの
<ul style="list-style-type: none"> 救急セット 持病の薬も忘れずに用意しておきましょう。 赤ちゃん おむつ、ミルク、哺乳ビン 高齢者や病人 常備薬、介護用品 	<ul style="list-style-type: none"> 非常食・飲料水 賞味期限の確認をしておきましょう。 タオル 色々な利用ができます。 万能ナイフ 毛布 ビニール袋

その他

非常持ち出し袋などは、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。